

獨協医学会

会長 寺野 彰 (獨協医科大学学長)

運営委員会委員

秋山 一文*	杉田 憲一**	石光 俊彦	石井 芳樹	犬飼 敏彦
上田 善彦	内田 幸介	遠藤美根子	大平 修二	大類 方巳
黒須 明	篠田 元扶	杉本 博之	桑島 成子	千種 雄一
中元 隆明	西山 緑	春木 宏介	濱口 眞輔	簀持 淳
服部 良之	平林 秀樹	本田 幹彦	緑川由紀夫	

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	千種 雄一**	石井 芳樹	犬飼 敏彦	上田 善彦
篠田 元扶	中元 隆明	簀持 淳	服部 良之	平林 秀樹
本田 幹彦				

*委員長 **副委員長

編集事務員

鯉沼 行子

編集後記

11月に入り、新型インフルエンザ感染は、ますます拡大し、全国約5000カ所の定点医療機関から寄せられたインフルエンザ患者の報告数が、大流行を示す「警報レベル」の1施設あたり30を超えました。今年の冬は、一体どうなることや心配です。私も、呼吸器学会のインフルエンザ対策による重症呼吸不全対策担当であるため、6月から国内外の情報収集や発信などの対応を行ってきましたが、日々の情報の変化に対応するのは大変です。秋の欧州の学会では、満床になったICUの患者をどのようにトリアージするか、限られた数の人工呼吸器を誰に着け、誰から外すかが真剣に議論されており、やや背筋の寒い思いをしましたが、ようやくワクチン接種が開始され、最小限の拡大で終息することを願うのみです。

さて、今回は、英文原著2編、和文原著1編、症例報告3編のほか、特集として「先端医療」を企画しました。9つの講座に原稿をお願いし、各領域における先端医療の実情をま

とめていただきました。特に、移植医療、再生医療の進歩はめざましいものがあり、すでに、本学において実施され日本さらには世界をリードしている領域もあると思いますし、現在、臨床施用に向けて研究中の領域もあると思いますが、大学病院としての高度先進医療への取り組みが把握できる企画だと思います。また、最近、医学の進歩はめざましく、新しい治療法、診断法の開発応用が急速に進んでいます。そのような中で自身の専門領域の進歩も十分に把握するのが困難な状況ですが、他領域の進歩を知ることは、得てして、大きなヒントをもたらしてくれるものであり、本号のような特集は、意義が高いものと思います。今回は、紙面の都合上、一部の講座のみに原稿をお願いしましたが、まだまだ、沢山の講座で先端医療の実施あるいは研究がなされていると思いますので、特集以外にも是非、次の機会に本誌にご投稿しご紹介いただければ幸いです。(石井芳樹)

2009年10月20日印刷

第36巻 第3号

2009年10月25日発行

編集発行人

獨協医学会

寺野 彰

発行所

獨協医学会

製作

教文堂

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136